

岩内協会病院 看護部教育委員会 平成29年度研修計画表

看護部教育目的：急性期から在宅まで幅広く対応できるジェネラリストを育成する
自主的に学習し、共に学びあう職場風土を目指す

平成29年度教育目標：看護の専門職業人としての自覚を持ち、やさしさを持った対応ができる
高齢者の特殊性を理解し、その人らしさを尊重した看護が提供できる

新採用者 (卒1年)	キーワード	専門職業人・組織人基礎作り
	目的	1.病院と看護部の理念・運営方針に理解を深め、職場環境に適応する 2.臨床実務に必要な技術・知識および社会人、専門人としての自覚と責任を身につけ、安全にベッドサイドケアができる
	目標	1.専門職業人・社会人としての責任と自覚を持ち、人間関係を円滑に築いていける 2.主体的に知識を身につけられるよう自己学習に取り組める 3.基本的看護技術を身につけ、安全に実施できる 4.チームメンバーの役割と責任を果たし、メンバーとしての自立ができる 5.院内研修、看護実践を通して看護の知識を深められる
	研修名	1年目研修
	日時	①新人職員オリエンテーション ②1ヶ月研修 5月 ③フォローアップ 5月 ④3ヶ月研修 7月 ⑤6ヶ月研修 10月 ⑥11ヶ月研修 2月
内容	①病院の組織と機能及び看護部の組織と機能についてオリエンテーションを受ける ②安楽な体位(ポジショニング、肩抜き、背抜き)の患者の立場と看護の立場の両方を体験し、安全で安楽な援助方法を学ぶ。研修後レポート、アンケートを提出 *ナースングスキル「体位変換」の事前学習必須 ③ME機器や採血などの技術指導を受け実践する *ナースングスキル「皮内注射、皮下注射、筋肉注射、輸液管理、採血」の事前学習必須 ④研修前に救急時の看護での悩みや不安について事前レポートを提出する 病室での救急時の対応(心電図、挿管、モニター、アンビューバック)についてロールプレイングを行う ロールプレイング後、副看護師長が助言者となり悩みや不安に対し問題点が解決できたか話し合う 入職し3ヶ月目の現状についてアンケートを提出する(アンケート結果は各部所へ戻す) *ナースングスキル「救急セット、意識レベル把握、心肺蘇生法、除細動、気管挿管の準備と介助、心電図モニターの装着と管理、フィジカルアセスメント」の事前学習をし、手技を病棟で副看護師長から指導を受けてから研修に臨む ⑤6か月経ってうれしかったこと、困っていること、不安なお互いに語り、共有し、解決する 事前レポートを提出してもらい、副看護師長が助言者となりGWをする。研修後アンケートを提出する ⑥看護計画を立案した症例を通してのレポートを事前に提出する(関わった患者の状態や経過から、自分の行った看護や関わり実践を通して学んだことや悩み、今後の課題を記載する) 提出したレポートは研修生全員に配布、各自読んでから参加する 副看護師長にも事前に配布し、GW時助言者として入ってもらう。GWで話し合った内容についてグループ別にレポート提出する。GW後、全体でディスカッションを行う。研修終了後11ヶ月目のアンケート提出 ディスカッション後2年目事例研究発表に向け、副看護師長から「研究計画書の書き方」の講義をうける	
卒2年	キーワード	基礎固め
	目的	看護実践を振り返り、自己の看護観を表現できる
	目標	1.患者の全体像を把握しアセスメント能力を高め、個別的看護を展開できる 2.事例研究を通し、自己の看護の振り返りができる 3.プリセプターシップを理解できる
	研修名	事例検討・2年目研修
	日時	①7月 ②12月 ③3月
内容	①急変対応のシミュレーション後、自己の行動を振り返り、GWを行なう。終了後アンケート提出 *ナースングスキル「意識レベル把握、心肺蘇生法、除細動、気管挿管の準備と介助、心電図モニターの装着と管理、フィジカルアセスメント」の事前学習必須 ②事例研究発表会(8月に研究計画書提出し副看護師長がクリティークをする。その後、論文を10月に提出し副看護師長がクリティークする。11月に完成した論文を師長会へ提出する。発表時、師長より講評をうけ講評内容をふまえて修正し再提出する。事例研究集を作成する) ③プリセプターシップについて教育より講義をうける	

卒3年	キーワード	自立
	目的	1. プリセプターシップを理解し、新人ナースの成長を支援する 2. プリセプターの経験を通し、自己の成長を認めることができる 3. 病棟全体に視野をおきチームメンバーとしての役割と責任が果たせる
	目標	1. プリセプターの役割が理解できる 2. 新人看護師が、人間関係を円滑に築けるよう共に考え支援ができる 3. プリセプターの役割を通して自己啓発ができる 4. チーム内でメンバーシップを発揮できる
	研修名	①プリセプター研修 ②メンバーシップ研修
	日時	①プリセプターとしての期間は1年間 研修は、5月・6月・9月・2月 ②10月
	内容	①研修は4回を予定し、GW方式で悩みを表出し、解決の糸口を見つける 4回目は一年を振り返って“プリセプターを経験した私”というテーマでGWし、お互いの成長を共有する。研修後アンケートを提出する ②事前に「プリセプターとしてではなく、3年目看護師としての病棟内での自己の役割」をテーマとし、事前にレポートを提出する。レポートには、そのためにはどう行動すればいいかまで明確に記載してもらう。副看護師長から「チームメンバーとしての役割」の講義を受けたあと、副看護師長が助言者に入りGWを行う GWは事前レポートを元に自己の役割を明確にする 研修後アンケートを提出する

卒4年 ～ 7年	キーワード	キャリア開発
	目的	1. 患者の全体像を把握して、フィジカルアセスメント能力の向上ができる 2. 医療チームの一員としてその役割を理解し、リーダーシップを発揮できる
	目標	1. リーダーシップについて理解できる 2. 夜勤急変時のシュミレーションを通して、自己の役割を認識し、リーダーシップを考えることができる 3. 心電図について知識を深めることができる
	研修名	①リーダーシップ研修 ②急変シュミレーション研修 ③心電図の読みかた
	日時	①8月 ②11月 ③2月
	内容	①ナーシングスキル動画シリーズ32「チームワークの活性化とリーダーシップ」の講義を受ける 事前に「リーダーシップをとるために普段どのように行動しているか」というレポートを提出。研修後「自己の行動を振り返り、今後の課題を明確にする」という内容の個人レポートとアンケートを提出する ②夜間の急変を想定したシュミレーションを行なう。夜勤での指示系統を明確にする シュミレーション後、GWを行なう。研修後アンケートを提出する *ナーシングスキル「救命救急処置技術、専門スキルアップ動画講義25急変対応」の事前学習必須 ③院内講師を依頼し、講義をうける 研修後アンケート提出

卒8年目 以上	キーワード	リーダーシップ養成
	目的	1. ヘルスケアシステムの構造と現状、保健医療福祉制度を理解する
	目標	1. 看護専門職として、地域における自己の役割を考えることができる
	研修名	①ヘルスケアシステム
	日時	①8月
内容	講師を依頼し、講義を受ける 研修後、アンケート提出する	

准看護師	キーワード	自己学習
	目的	医療チームの一員としてその役割を理解し、実践できる
	目標	心電図について知識を深めることができる
	研修名	心電図の読みかた
	日時	2月
内容	院内講師を依頼し、講義を受ける 研アンケート提出する	

看護研究 に携わる 職員	キーワード	研究
	目的	看護研究への取り組みを通して自らの看護実践の中で活用でき、看護の質の向上を図る
	目標	①看護研究のプロセスに沿った研究ができる ②看護研究の批判的な読み方ができる
	研修名	看護研究発表会
	日時	①7月上旬 ②10月上旬 ③1月
内容	①看護研究発表までのスケジュールを4月中に各部署に配布配布する ②師長・副看護師長をグループに分け、各部署で完成した研究計画書をクリティークし結果を各部署に戻す ③研究計画書を元に論文を作成し、再度師長・副看護師長がクリティークを行なう クリティーク結果を元に論文を完成させる ③看護研究の発表と質疑応答。講評をいただき、指導された点は各部署訂正し再提出する	

集合研修	キーワード	知識の向上
	目的	認知症について理解し、実践的な対応力を習得する
	目標	①認知症について理解を深めることができる ②やさしい患者ケアが実践できる
	研修名	認知症の看護
	日時	9月
内容	認定看護師に講師を依頼し、講演後アンケート提出	

集合研修	キーワード	リフレッシュ
	目的	職場の活性化
	目標	職場間の交流を通しリフレッシュできる
	研修名	未定
	日時	11月
内容	未定	